

大崎環第1419号
令和7年12月26日

宮城県知事 村井 嘉浩 様
(環境対策課扱い)

大崎市長 伊藤 康志



高日向山地域地熱発電計画（仮称）環境影響評価方法書に係る
意見について

令和7年12月5日付け環対第256号で通知のありました標記の件につきまして、別紙のとおり意見を提出しますので、よろしくお願いします。

担当 市民協働推進部環境保全課
環境保全担当 佐藤 晝八
〒989-6188
大崎市古川七日町1番1号
TEL:0229-23-6074 FAX:0229-23-2427
E-mail:kankyo@city.osaki.miyagi.jp



高日向山地域地熱発電計画（仮称）に係る環境影響評価方法書に対する意見

【意見】

○自然環境の保全について

大崎市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の趣旨を鑑み、周辺の住民等と良好な関係を構築し、第2次大崎市環境基本計画に掲げる環境目標の達成に繋がるよう自然環境の保全に努めていただきたい。

関係法令を遵守し、環境影響を最大限回避した事業計画を検討いただきたい。

○猛禽類の環境影響評価について

実施区域周辺が緩傾斜のため、クマタカの営巣の好適環境とは言えないものの、実施区域周辺はクマタカの生息数の多い地域である。緩傾斜においては調査の際の有効な視界の範囲の確保が難しいため、事業実施区域を重点的に調査を行う際に、実施区域周辺を確認できる定点の確保について検討をお願いしたい。

○植生への配慮について

記載されているとおり、重要な植生を有す地域のため、影響が少ないよう、調査段階からの環境への配慮及びブナ林等の伐採の最小化について環境影響評価をお願いしたい。

○小動物への配慮

昆虫類、両生類、爬虫類、哺乳類等への配慮として、現況調査及び事業実施区域及び作業道路の設置に際し、側溝等への小動物の移動の妨げ防止や這い出し可能な製品等の使用について検討をお願いしたい。

○工事用の取水について

工事用の取水配管整備に伴う滝沢、北滝沢及び赤沢への現況改変について、周辺生物への影響、下流部への土砂の流下等、環境影響評価の実施をお願いしたい。